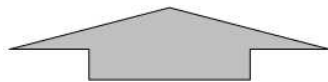


事務事業名 総合保健福祉センター管理運営事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：356

施策：	09	健康づくりの推進	財務コード	01040105-01-304
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標			担当課	健康推進課
			担当係	健康企画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成10年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
総合保健福祉センター利用者		カミーリヤの基本的な管理・運営に関すること。 【事業開始年月日】 H10.11.1 ~ 【運営主体】 市健康推進課、社会福祉協議会（老人福祉センター）、JA筑紫（デパート）、障がい者団体（レストラン） 【委託事業】 総合施設管理、中央監視装置保守点検、消防設備保守点検、施設清掃、電気保守業務、樹木管理、花壇管理 【機器等借上】 施設予約管理システム、電話交換機、有料放送使用、レンタルマット、トイレ洗浄器				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		施設休館日及び利用時間】 休館日：毎月第3月曜日（祝日と重なるときは第4月曜日）、12月28日から翌年の1月3日まで				
筑紫野市総合保健福祉センター「カミーリヤ」の設置目的を果たすため、利用者が安全で快適に利用できるよう、円滑な運営を図ることを目的とする。		根拠法令】 ・市総合保健福祉センターの設置及び管理に関する条例 ・市総合保健福祉センターの設置及び管理に関する条例施行規則 ・市総合保健福祉センター運営協議会設置条例、利用調整会議設置要綱				

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
年間利用者数	人	97,916	130,263	227,000	227,000			227,000
1日あたり平均利用者数	人	385	376	654	654			654

5. コスト								
事業費	計	千円	92,580	104,650	122,638	114,316		
	国	千円		0	0	0		
	県	千円		0	0	0		
	地方債	千円		0	0	0		
	その他	千円	4,386	9,551	15,325	15,355		
一般	千円	88,194	95,099	107,313	98,961			
正職員人工数	人工	1	1	1	1			
正職員人件費	千円	7,921	7,728	7,815				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	100,501	112,378	130,453	114,316			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	（状況）利用者が、前年度比で32,347人増加しており、令和2年度・3年度より利用者は増加している。 （原因）今年度は利用者の人数制限は行ったものの、令和3年度までのような新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設休館は実施しておらず、利用者の増加につながった。 （課題）新型コロナウイルスワクチン接種会場になっているため貸館も部屋数を制限した状態が続いている。今後集団接種の実施状況をみながら、制限がなくなった際には館の利用について周知をしていく。							
どちらかといえばあがっている								
あがっていない（停滞・低下）								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	施設の老朽化に伴い、修繕料などの維持コストが増えていることから、計画的に更新作業をおこなう必要がある。				
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）

老人福祉センターの設備維持管理業務を総合保健福祉センターの維持管理契約と一本化することによる、コスト削減の検討を予定している。	老人福祉センターを含めた、総合保健福祉センター全体の指定管理者制度について、住民サービスの向上やコスト削減策をまとめ、実施に向けての可能性を探る。
---	---

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）

平成10年11月のカミーリヤ開館から25年が経過している。施設本体や使用機器の老朽化により、修繕費用や買換え費用が緊急的に発生するケースが増加している。	備考・特記事項 or 進行管理欄
--	------------------